



# 明日の青梅のために！！

## 青梅市議会議員

# 島崎 実 活動報告

令和2年1月20日発行

島崎 実 事務所  
〒198-0063  
青梅市梅郷6-1511  
TEL 0428-76-0358  
E-Mail info@minoru-kai.com

新年明けましておめでとうございます。旧年中は様々にご支援・ご協力を頂き、誠に有り難うございました。特に4月の市議会議員選挙に際しましては、格別のご支援を賜りました事、改めて御礼申し上げます。本年は2020東京オリンピック・パラリンピックの年であります。そして、令和新時代の2年目、大いに飛躍する年でもあります。青梅市政は引き続き課題が山積しておりますが、初心忘れず、全力で取り組みますので、倍旧のご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

- ◎令和元年10月8～9日、小・中学校のいじめ・不登校問題を調査するため、奈良市教育委員会及び京都市の不登校特例校・「京都市立洛風中学校」を訪問しました。
- ①奈良市教育委員会では平成30年度より、SNSを活用した相談窓口「STOPit」を導入し、小・中学生のいじめ相談が大幅に増加し、電話・メールと合せ24時間の相談対応を可能としました。
  - ②「洛風中学校」は不登校の生徒のみを受け入れる中学で、京都市にはもう1校「洛友中学校」があります。両校の定員は合計65名で、市内中学校の不登校生徒889人の3%にすぎませんが、非常に手厚い対応を取っています。



上左の2枚は京都市立洛風中学校前で写真です。右は洛風中学校校長及び、教育委員会による説明の写真です。なお青梅市の中学校不登校生徒は、令和元年11月末時点で188名となっています。

◎10月11日から12日にかけて東日本を襲った、台風第19号による豪雨で市内各地に甚大な被害が生じました。特にまれにみる雨量により、市内西部・北部地区に大きな爪痕を残しました。人的被害は幸いにありませんでしたが、床上・床下浸水、がけ崩れ、道路陥没等、被害件数は375件に達しました。災害復旧を行うため、12月議会で376百万円余の復旧補正予算を可決しました。



◎「このような中、復旧も順次進んでいます。下の写真は復旧工事が完了した現場の一部です。」



上は、柚木町1丁目、吉川英治記念館隣接の愛宕山不動堂前道路の陥没と、同参道損壊の復旧前後の写真です。



梅郷4丁目旧都立天満公園の倒木の処理現場      和田町2丁目、並木入林道の陥没と復旧後の状況

「12月議会報告」

- 1、12月議会は9日に、再選された浜中市長の所信表明演説。12・13日に常任委員会、16日に補正予算審査と全員協議会。19・20・23日に一般質問を行い、24日の本会議で市長提出議案を可決し、終了しました。
- 2、「全員協議会」 全員協議会には下記の4項目が市長より提出されました。
  - (1)第2期「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について・・・第1期の総合戦略を検証し、新たな市政運営の基本姿勢として「遊ぼうよ！青梅」という標語を掲げ、青梅を訪れる方がたが、自然豊かな青梅で遊ぶことにより青梅ならではの地方創生の推進を図ります。
  - (2)令和元年台風第19号について
  - (3)青梅市立総合病院を当事者とした訴訟事件の概要について
  - (4)新総合病院建設工事に伴う総合体育館駐車場の利用について・・・総合体育館は休日の利用が多く、半面平日の利用は比較的少ない為、総合体育館駐車場を活用します。

3、「一般質問」

(私の質問)

(市長の答弁)

「浜中市政2期目の市政運営の心構えにつて」

- |  |  |
|--|--|
| <p>(1) 今回の市長選挙の投票率は、残念ながら過去最低の36.51%となったが、この要因をどう捉えますか？</p> <p>(2) 市政の根本は市民に真実を伝え、正しい判断を仰ぐことと信じてますが、改めて市政運営の心構えを示されたい。</p> | <p>(1) 投票行動は、選挙の争点、関心の高さ、当日の気候など、様々な要因があり、一概に説明するのは困難と考えます。</p> <p>(2) 多くの方をまちづくりに招き入れ、正しい現状認識のもとで、相互理解を図り、ともに取り組み、市政を大きく前進させます。</p> |
|--|--|

「ケミコン跡地の利活用計画について」 (新市民ホールについて)

- |  |   |
|--|---|
| <p>(1) 新市民ホールについて、選挙期間中市長は「市民の声を十分に聞き、大胆に見直す」との英断を下されましたが、この発言の意味するところを伺います。</p> <p>(2) 新市民ホールの現状の検討ベースは8百~千人規模の平土間ホールに可動式のひな壇型観客席を設置するものです。しかし、コストを考慮するなら固定式の方が安価かもしれない。文化・音楽関係者の意向等も考慮し、小さくても独立した26市で、最も音響の良いと言われる位のホールを検討してはどうか見解をお示ください。</p> <p>(3) 厳しい財政状況にあっても、ホールについては20年・30年・50年先を見越した上で、結論を出して欲しい。その上で、今後どのように市民の声を聞いて行くのか伺います。</p> | <p>(1) 市民ホールをはじめ、本事業用地に建設する複合施設について、将来利用する市民のことも考え、市民の皆様、市議会とともに、検討を進めてまいりたいと決断したものであります。</p> <p>(2) 本事業については市民の期待も大きいことから、今年度市民アンケートを実施した。この内ホールの形態と設置について、最も支持の多かったものは、多機能型ホール（現状案）を一つ作るで44.5%。「劇場型ホールのみ必要」は17.5%だった。この結果のみで判断することなく、幅広く考慮し、方向性を決定して行きます。</p> <p>(3) 市民意見を丁寧に聴取します。新年度、市民ホールに関する懇談会を設置し、意見を伺って行きます。委員構成は10名とし、各種団体推薦者4名と無作為抽出により選出した市民で構成します。</p> |
|--|---|

「台風第19号による被害からの早期の復旧について」

(私の質問)

(市長の答弁)

- |   |   |
|---|---|
| <p>(1) 台風第19号により市内に甚大な被害が生じましたが、建物被害、土砂・がけ崩れ等の被害件数？雨量また、避難状況について伺います。市の災害対応への評価はどうか？消防団の出動実績及び要請内容、また、小河内ダム放流計画・放流実績について、伺います。</p> <p>(2) 避難場所の設置ルールはありますか？避難場所にかなりの市職員がいましたが、出動体制について伺います。避難者は情報が欲しいのです。避難場所にテレビの設置を検討出来ないか？</p> <p>(3) 復旧の為、3億7千万円余の補正予算を計上しましたが、国・都の財政支援はどうなっているか？梅の公園の復旧計画について伺います。</p> <p>(4) 地球温暖化の影響もあり今後も、このような災害の可能性がります。今回の災害対応を精査し、次への備えとすべきと思うが見解をお示ください。</p> | <p>(1) 人的被害の報告はないが、被害総件数11月末時点375件。10月12日の1日最大雨量は553mm(沢井)、かつて最大の274mmを大幅に上回ります。避難場所19か所、避難者総数2,093人。避難情報の発令等は適切であったと判断しています。消防団は献身的に活動、延べ391人が出動しました。小河内ダムの放流量は過去4番目でした。</p> <p>(2) 施設の選定は、立地や雨量等を踏まえ決定。職員体制は3~4人を1班として、各施設に2班派遣し、開設・運営を図った。施設の設備や備品の現状を踏まえ、テレビの活用も含め検討します。</p> <p>(3) 国・都の支援は大きく3種類、あらゆる制度を利用します。梅の公園の被害は10か所、年度内の復旧を目指し、梅まつりは計画通り実施する。</p> <p>(4) 今回の対応について、様々な側面から総合的に検証し、災害対応体制の強化と習熟を図るべく、必要な見直しを行い、災害に強いまちづくりを推進してまいります。</p> |
|---|---|